



佐藤 安宏さん(79) 民子さん(74) 石越町・駅前 1967(昭和42)年12月入籍

出会えた縁に感謝し、一生大切に

★二人のなれ初めは 【安宏】文部省(現文部科学省)主催の3泊4日の青年学級生全国大会に宮城県代表で参加した時、山口県代表で来ていたのが家内です。 【民子】大会4日目の最終日に、これからも交流したいと思って、住所が書かれた自分の文集を渡しました。 【安宏】石越と山口県萩市で2年くらい文通。27歳で国家公務員に採用され、結婚を考えた時に、一番近い存在になっていたのが家内でした。 ★結婚当時の思い出は 【民子】萩市で仮祝言、石越で結婚式後、すぐに福島県にある国立磐梯青年の家の官舎での生活。冬は雪が多くて買い物に行くのが大変でした。 【安宏】その後、東京、群馬、富山、三重、秋田、再び東京と10回以上引越したから、家族には苦労掛けましたね。 ★最近うれしかったことは 【民子】昨年、息子や孫たちに鬼首のホテルに招待され、金婚式を祝ってもらいました。 ★夫婦円満のコツは 【民子】けんかもありますが、お互いのことを思い、気持ち切り替えることですね。 【安宏】縁あって一緒になったんだから、一生大切にすることですね。

One's Home

ふるさとへの思い

「故郷の風景」

月日が経つのは早いもので、故郷を出てはや65年が過ぎようとしています。小中学校、高校と18年間、南方に住んでいました。田舎での思い出といえば、2月と9月の情景が脳裏に浮かびます。 2月は、高校への通学路だった本郷から原まで続く田んぼの中の一本道を、季節風の西風が田んぼの残雪を巻き上げました。前が見えないほどの吹雪に、自転車を押して歩いた思い出があり、本当に嫌な月でした。 9月は、素晴らしい風景を見せてくれる自分の一番好きな季節です。見まごうばかりの黄金のさざ波、特に天気の良い日の透き通った青空と黄金色の稲穂の調和が、私

阿部 幸男さん(82)

関東地区 宮城県南方町人会会計監査 南方町(山成)出身



にとつて一番の風景です。自分もこの風景の中、田んぼのあぜ道にひっくり返って本を読むのが、最高の楽しみでした。 また、小中学校の友達とも交流が続いています。特に大嶽山興福寺の嶽内君とは長く親交が続いており、毎年12月末日には、ご祈禱した青竹に酒が入ったものを送ってもらいます。それを町会の新年会で提供しており、町会の皆さんも毎年楽しみにしています。 わが町会は、人口約1万2千人、2200世帯で、中野区の神田川沿いにありますが、千代田町会といえます。昔は、田んぼがあり、ホタルが群生していました。毎年夏には、ホタルを捕って千代田にある皇居の堀に放流していた思い出から、町名を決める際に千代田の名を入れたそうです。 やはり故郷の風景や思い出は、いくら年月が遠のいても、消えるものではありません。私が故郷で過ごしたのは18年間ですが、自分の胸の中に刻まれた故郷の風景を忘れることはありません。これからも、南方町のご発展をお祈りします。

おらほの産直

産地直売所 「いしこし大好き」



お客さんとの会話が楽しいと話すスタッフの皆さん。アットホームな店内には笑い声があふれます。

今月は、産地直売所「いしこし大好き」の佐藤律子店主にお話を伺いました。 Q「いしこし大好き」の特徴などについて教えてください 石越町に農産直売所がなかったのと、地域に困らんの場を作りたいたと、2001年4月にオープンしました。会員が育てた新鮮な農産物や地元食材を使った総菜やお弁当などを販売しています。 Qお勧め商品や人気商品などを教えてください 野菜は、タマネギやニンニクがお勧めです。 お弁当も人気があり、毎日



手作りのお弁当は、野菜がたっぷり入って栄養満点。1個500円

20個ほど予約が入ります。前日までに連絡をもらえれば配達もしています。 総菜も人気商品で、オープン当時から不動の人気を誇るのが、みそ、小麦粉、砂糖などを混ぜ、油で揚げた「みそやき」。誰でも作れるようにレシピを店内に掲示していますが「なかなかこの味にならない



カウンターいっぱいには並ぶ総菜。人気のみそやきは3個で100円

い」と、買いに来る人が絶えません。 毎日店内で手作りしている総菜やお弁当は、飲食スペースを利用して出来たてを召し上がることができ、気軽にお立ち寄りください。 【問い合わせ】産地直売所「いしこし大好き」(石越町南郷字館前207-1) 0228(34)3623

短歌 まちの文芸

作品募集! ●9月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、7月31日(水)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

夏来ぬば思い出させし亡き妻が 梅酒片手にアジサイ眺め 風騒ぎ青葉をぬらした昨夜の雨 水滴おちてしたたる一瞬 受け継ぎて早や四十年庭の松父しのびつつ手入れスムーズに 暮れるまで植木の陰で草を引く 鈴羊いると間違えられて 静寂す朝もやの中遠くより 響きし声や牛蛙なり

星 慶堅 (迫) 三浦 智恵 (迫) 熊谷タヘ子 (中田) 本宮やつの (中田) 石崎よしの (米山)

雨上がり緑はなやぎ競いつつ 山は大きく近付いており お盆棚飾りはじめて二十八年 色々供え御先祖迎え 来る度に大きくなって男女孫2人 教えるつもりが教えられたり 炊きたてを供えて今朝も香灯す 黄泉の国まで届いてますか 見渡せば若き稲田に真白なる 一羽の鳴は何啄むや

佐々木康子 (米山) 佐藤よしの (石越) 加藤 了子 (南方) 三上久美子 (南方) 阿部 洋子 (津山)

応募総数15作品